

電子制御式 コーヒー抽出器 BCM-200



このたびは、ブルーマックコーヒーマシンをお買い上げ頂きましてありがとうございます。 ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。 この取扱説明書は、いつでも取り出せるところに保管しておいてください。

目 次

《ご	使月]前(こ》	ま	ミた	は	ς «	《安	子全	≧ (:	=1	Εl	> <	くお	3個	更し	١Ţ	頁く	(†	- X	51;	ニ》	•	•	•	•	•	•	•	•	2
特に	注	意し	.て	い	たこ	だ	き	た	い	C	٤	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	2~	• 4
特	長		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
各剖	ያወ፡	名称	ょと	仕	様	-	-	-	•	•	•	•	•	•	•	•	-	•	•	•	-	•	-	•	-	•	•	•	•	•	6
設置	<u></u> [(こ)	つい	て	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7	7 ~	× 8
操作	∃∕	ネル	, .	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9
ご伎	ī用:	方法	. •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	0~	•11
設定	方	法·	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	2~	•16
エラ	; — :	表示	÷ •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	7~	•18
日常	መ	点検	•	お	手.	入才	ħ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	19
故障	<u>-</u>	異常	つ	見	分	けこ	方。	<u>ب</u> ع	処	置	方	法	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	20
長期	間	使用	l	な	い	場	合	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	21
アフ	タ	ーサ		ビ	ス	12-	0	L / .	τ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	-	•	•	•	•	•	•	•	21
保証	[書			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	22

■《ご使用前に》または《安全に正しくお使い頂くために》

安全に正しく使用して頂くために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を安全に使用していただきお客様や他の人々の 危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を以下のように区分しています。

▲警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能 性が想定されることを表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定さ れる場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

■絵表示について次のような意味があります。

\bigcirc	一般的な禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	触手禁止	このような絵表示は、手を触れてはいけない「禁止」内容です。
	必ず行う	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ 特に注意していただきたいこと (geontwice with a state of the state

水場使用禁止

▲ 警告

■本体に直接水をかけない。

感電・火災の原因となりま す。



■分解・修理・改造は絶対にしない。
感電・火災・けがの原因となります。
故障と思われたときは、お買い求め先にご連絡下さい。

■異常発生時は使用しない。

ご使用中、ブレーカが動作したり、本体に異常表示が出た場合は速やかに 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、故障異常の見分 け方と処置方法(20頁)に従い、必要な場合、販売店にご連絡下さい。 電源プラグを抜く際は、感電したり火傷しないよう注意して下さい。

特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください。)

⚠ 警告			
e	■電気工事業者による第3種 接地工事を実施する。	0	■電源プラグの刃および刃の 取り付け面にほこりが付着 している場合はよく拭いて から使う。
接地する	アースが不完全な場合、故 障や漏電のときに感電する恐 れがあります。		火災の原因になります。
0	■定格15A以上の接地3Pコ ンセントを単独で使用する。	\bigcirc	■吸排気口やすき間にピンや 針金などの金属物、異物な どを入れない。
	コンセント部が異常発熱し 発火することがあります。		ショート・感電のおそれが あります。
0	■延長コードは、一芯の断面 積が2. 0 mm ² 以上のコード を使用する。	0	■電気工事は「電気設備に関す る技術基準」「内線規定」 に基づき、電気設備の専門 技術者が施工して下さい。
	細いコードを使用するとコ ードが異常発熱し発火する ことがあります。		電源回路の容量不足や施工 不備があると、感電・火災 の原因になります。
\bigcirc	■電源コードや電源プラグが 傷んでいたり、コンセント の差し込みがゆるいときは 使用しない。	\bigcirc	■電源コードを傷つけたり、 破損したり、加工したり、 無理に曲げたり、引っ張っ たり、ねじったり、束ねた りしない。
	感電やショートして、発火 することがあります。		感電やショートして、発火 することがあります。
\bigcirc	■単相交流200∨以外で使 用しない。		■本体の移動時は電源プラグ をコンセントから抜く。
	感電・火災の原因となりま す。		電源プラグ・コードに張力 が加わり、ショート・発火 の原因となります。

特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください。)



-4-

■ 特 長

■見やすく操作しやすい7インチワイドカラー液晶タッチパネルに各種操作を 集約しました。

【設定可能な制御】

- (1) 湯温設定:85℃~95℃の範囲で任意設定可能。
- (2) 湯量設定:150ml~3000mlの吐出量の任意設定可能。
- (3) 抽出パターン:吐出量・蒸らし時間(0~150秒)を最大24回
- (4) 任意に設定が出来4種類をメモリー可能。
- (5) 時刻設定:現在の年月日時刻を設定し常時表示
- (6) 予約設定:機器動作の予約タイマー(年月日時刻)機能付
- (7) 保温設定:3個の各保温プレートの作動(ON/OFF及び作動時間)が設定可能
- ■湯量の誤差を調節できる「較正機能」搭載 抽出量の誤差を較正モードによって、マイコンで自動補正出来ます。
- ■アイドルタイムの節電に「ECO」モード設定搭載 通常モードより低めの湯温設定で待機し、次の抽出に備えるため 時間当たり消費電力を低減します。 (ECOモードのみ85℃以下の設定が可能です。)

■各種安全装置は作動時に画面に表示

- (1) 給水異常:3分以内にタンク内に水が満水にならない場合、機器を停止し 「給水異常」を表示
- (2) 空焚き防止:タンク内温度が98℃以上の場合、機器動作を停止し 「異常加熱1」を表示
- (3) 過昇防止:タンクの過昇防止サーモが作動した場合機器動作を停止し 「安全サーモスイッチがトリップしています」を表示
- (4) 機器内過熱:機器内部の温度が80℃以上になった場合、機器を停止し 「機器内温度異常」を表示
- (5) サーミスタ異常:温度センサが急激に変化した場合、機器を停止し 「サーミスタ異常」を表示
- (6) 水位センサー異常:水位センサー正しく信号が送れない場合、機器を停止し 「水位センサー異常」を表示

■機器の動作状況を管理する機能搭載 抽出回数、電磁弁動作回数、積算流量、故障履歴を記憶しパネル表示 します。

■ 各部の名称と仕様

■各部の名称



■仕様表

製品名·製品番号	電子制御式 コーヒー抽出器 BCM-200
電気定格	AC単相 200∨ 50/60 Hz 2900 W (メイン 2400 W 保温 75 W×3)
給水方法	自動給水 ϕ 10 外径 × ϕ 6.5 内径 チューブフィッティング接続
加熱装置	湯沸し:シーズヒーター 保温:PTC(半導体ヒーター)
制御内容	マイコン制御、抽出量・ムラシ時間設定、タイマー設定、湯温設定
	保温動作設定、湯量誤差補正、エコモード設定、各種管理設定
操作方法	7インチワイドカラー液晶タッチパネル
最大抽出量	タンク容量 6.0L 抽出量 150ml~3000ml任意設定
安全装置	空焚き防止、給水異常検知、異常過熱防止、機器内部過熱検知
寸法·質量	W264×D395×H610(mm) 約19 kg
附属デカンタ	ガラスデカンタ 1.8L

※予告なく仕様の一部を変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

設置について1

機器を安全に正しくご使用いただくために、次の内容をお読み頂き、よくご理解頂いたうえで 設置をお願いします。





させないで下さい。



耐える場所に設置して下 さい。



■設置する場所の周囲温度が、45℃以上になる場所、常時直射日光が当る場所、 チリやホコリの多い場所、湿気が多い場所、振動がある有る場所などへ設置は しないでください。

機器内部の電気部品などの故障の原因となります。

■本体の周囲に熱がこもらないように、周囲の壁、家具、他の機器などから 10 c m以上の空間を設けて設置して下さい。

機器内部に熱がこもり電気部品などの故障の原因となります。







■常温水以外は使用しない。

必ず常温水を給水して 下さい。 故障の原因となります。

▲ 注意【使用環境条件】

■周囲温度:5~45°C(凍結のおそれのある場合は、マシン内の水を抜いてください。)

■湿 度:80%以下

■水 圧: 0.5Mpa(メガパスカル)以下のこと。 ※高い場合は、軟水装置や浄水器のご使用をお奨めします。

設置について2(水道配管)

■設置に必要な附属品



- 1. 設置の前に
 - ①水道管を施設し、R1/2インチのストップ バルブを、マシンより1m以内に取付けて ください。
- ②電流容量20A以上のコンセントを2m以内 準備して下さい。 電気工事は、電気設備の専門技術者に依頼して ください。
- ストレートアダプターにシールテープ を巻く。
 ※シールテープは水道工事用水漏れ防止 テープを各自ご手配下さい。
- ストップバルブにストレートアダプターを 取付けて下さい。締め付けは、スパナなど 工具を用いて締め付けて下さい。







R1/2ストップバルブ

3. ストップバルブに取付けた、ストレートアダプターに給水チューブ(010×6.5)の片方を 奥まで差込み、もう片方を本体後面の下部にある給水口に奥まで差し込んでください。 イコールエルボは、後面に空間が少なくチューブが折れ曲がる場合に、つなげてご使用下さい。



▲ 重酒	2014/04/22	手動	ウォーマー
电际	9:12	0分	3
同人	適温	手動	ウォーマー
DC Q	93°C	0分	2
经通	抽出可	手動	ウォーマー
4947 1222		0分	1
地 抽出	2 抽出	3 抽出	抽出

■操作パネルの基本画面「抽出選択画面」キー動作

・電源キー

キーを押下すると、電源を切り、画面が「電源切」(出力待機)画面になります。

・戻るキー

キーを押下すると、各設定の「メインメニュー」画面になります。

・給湯キー

押下している間、給湯管より湯が出ます。押下をやめると停止します。

・日付・時刻

日付・時刻を表示します。設定や修正は別画面より行います。

・適温キー

タンク内の湯温が設定温度に達していれば「適温」を表示。達していなければ 「湯沸し中」を表示します。

・抽出可/抽出不可キー

湯温が適温の場合「抽出可」を表示し適温より低い場合「抽出不可」を表示します。 ・ウォーマーキー

ウォーマーの動作キーで「1」は本体下部、「2」は上部手前、「3」は 上部奥側のウォーマーの入/切を行います。キーは1秒以上押して作動します。

・手動/自動キー

手動(手動で「切」まで保温し続け、経過時間を表示)と自動(別画面で設定 された時間だけ保温し自動的に「切」になる)の設定状態を表示します。 「手動」「自動」の切り替えは別画面で行います。

・抽出キー

1~4の4種類の抽出パターンをプログラムでき、それぞれのキーを押下すると 「抽出確認画面」を表示します。※工場出荷時の設定は下表とおり。

モード	抽出 1	抽出 2	抽出 3	抽出 4
抽出量	1800ml	1500ml	900ml	600ml
抽出回数		3回抽出+蒸	らし2回	

ご使用方法 1

■ご使用前の確認

- 1. 正しく設置されてることを確認して下さい。(詳細は、P7~8「設置について」参照)
- 2. 本体後面下側の黒いツマミのついた排水コック(ドレンコック)が閉じていることを確認して 下さい。ツマミを排水管の出ている方向から90°回すと閉になります。
- 3. 水道の元栓が開いていることを確認し、電源スイッチをONにして下さい。

■ご使用方法

抽出・給湯・保温などの基本動作について説明します。(各モードの設定につきましては、P.12 「設定方法」を参照してください。)

- 1. 立ち上げ
- 電源スイッチをONすると、制御基板が動作し、液晶画面が「立上げ画面」になり、すぐに 「電源切画面」に切り替わります。
- ②「電源切画面」を押下しますと「抽出選択画面」になり水道の水が本体のタンク内に水を供給します。 タンク内の水が、一定量に達しますと、タンクヒーターが自動的にONになり湯沸しが始まります。
- ③ 「抽出選択画面」はタンク内の湯が設定温度に達するまで、画面に【抽出不可】【給湯不可】を 表示し、【抽出】キーおよび【給湯】キーを押下しても動作しません。
- ④ タンク内の湯温が画面に表示され、設定温度に達するとヒーターの加熱が停止し、操作パネルの 【抽出不可】【給湯不可】表示が【抽出可】【給湯可】を表示し、操作可能状態になります。



立上げ画面

電源切画面

抽出選択画口

抽出選択画面(湯沸し中) 抽出選択画面(湯沸完了)

- 2. 抽出準備
 - ファンネルにペーパーと抽出設定した分量のコーヒーの粉を入れ、ファンネルを本体のガイドに はめ、奥まで差し込んでセットします。
- ② デカンタを本体正面の円形のウォーマープレートの上に載せて下さい。
 【△注意】標準装備のデカンタは、ガラス製です。デカンタに付属の注意事項をよく読んで、 正しくご使用ください。
- 3.抽出
 - あらかじめ設定された【抽出1】から【抽出4】の抽出方法に基づき、コーヒーの抽出を行います。
 (抽出の設定はP.13「抽出湯量設定」参照)
 - ② 抽出選択画面の1~4の何れか押下してください。キーを受付けますと、ピッと音がなり 画面が変わり「抽出確認画面」に切り替わります。タッチが速いとキーが受付けない場合があります。
 - ③ 「抽出確認画面」の【開始】を押下しますと、抽出を開始します。抽出はあらかじめ設定された間隔 と湯量で、コーヒー粉に湯注ぎ、ムラシを繰り返した後、本抽出し、抽出を完了します。
 - ④ 抽出中は「抽出選択画面」になり、抽出の枠内に抽出完了までの時間が表示されます。
 - ⑤ 抽出中に【抽出停止】を押下しますと、「抽出停止」画面を表示し停止します。継続は出来ません。
 - ⑥ 画面に【戻る】が表示されている場合、【戻る】キーを押下すると、ひとつ前の画面に戻ります。 この動作は以後すべておなじです。
 - ⑦ 抽出が完了すると、ブザー(ピーッ)でお知らせし、「抽出完了画面」を表示します。【確認】を 押下すると、「抽出選択画面」に戻ります。抽出の量によってはタンク内の湯温が設定温度 より下がり、設定温度より2℃低くなると、「抽出不可」と表示し、タンクヒーターが動作、湯沸 しを開始します。湯沸しは数分で完了しますが、その間は「抽出不可」「給湯不可」を表示し キーは受付けません。

ご使用方法 2

■ご使用方法

(A) 19:16	2016/1/28	自動	ウォーマー					
C HEAD	13:30	設定時間:60分	3					
戻る	通道	手助	ウォーマー					
	95°C	_	2					
統調	抽出可	手動	9x					
金 抽出	10000000000000000000000000000000000000	多 抽出	参抽出					
抽出選	択画面	ī(抽出	待機中)					
「抽出1」工程を停止しました。 「戻る」を選択してください。								
戻る								
	山口吉,							



1 Indian	2 Martia	371414	-
2.抽出	2.抽出	2.抽出	2 抽出
不可	残り180秒		1
給湯	抽出中	手動	24-3-
1000 Mp.1C	95°C		2
AND IN A	道温	手動	ウォーマー
O HEADY	13:30	設定時間:00分	3
A 19-16	2016/1/28	自動	ウォーマー

抽出中画面

抽出停止画面

- 4. ウォーマー(保温)
 - 「抽出選択画面」で3個あるウォーマー(保温)のON OFFができます。【ウォーマ1~3】のキーを長押しま すと、キーが反転してONになります。
 - ②【ウォーマー】には、【自動】と【手動】があります。 【自動】は設定した時間の間だけ保温し、設定した時間から減算する表示を行い、設定時間になると 自動的にOFFとなります。
 - ③ 【手動】はONにすると、OFFにするまで通電し続け、 通電した時間が加算表示されます。
 - ④ 【自動】【手動】の設定は、設定モードで切り替えができます。 (「ウォーマー設定」P.15参照)

【△注意】 保温は、必ず液体の入ったデカンタを置いてからONにしてください。空焚きは ガラスが割れるおそれがあります。また、ご使用にならない時は必ずOFFにして下さい。 誤って触れると火傷する恐れがあります。

- 5. 給 湯
 - 【給湯】キーを押している間、給湯管より湯が出ます。 キーの色が反転します。離すと、給湯も停止します。
 (給湯量の目安は一回1000ml程度です。)
 - ②【給湯中】は給水も同時に行いますので、給湯を 停止した時に湯温が設定より下がった場合は 「給湯不可」を表示し、給湯が出来なくなります。 湯温が再び設定温度に達すると、給湯が可能になります。

【△注意】 給湯キーを押し続けますと、給湯はできますが、給水された水と混ざり、次第に 湯温が下がってきますので、湯温表示を確認の上、給湯した湯が冷めないように注意して 下さい。 また給湯直後に給湯管から出る湯のしずくに注意してください

- 6. 電源切り
 - 「抽出選択画面」の電源キーを押下しますと機能部の 電源はOFFとなり「電源切」画面を表示し機器全体が 待機状態となります。
 - 「電源切」画面をタッチしますと、「抽出選択画面」に 切り替わり、初期の立上り状態になります。
 - ③ 電源を完全に切るには、本体後面下側にある、電源 スイッチをOFFにして下さい。



電源切画面

自動	ウォーマー
残り:59分	/3
手動	ウォーマー
5分経過	12
手動	ウォーマー
	(1)

2016/1/28

13:30

道温

95°C

給湯中

(1) 電源

戻る

給湯

1 抽出

自動

設定時間:60分

手動

· 抽出 · 抽出

給湯中画面

3

4 抽出

設定方法 1

各モードの設定方法について説明します。すべての設定は、「抽出選択画面」の【戻る】キーを押下して 「メインメニュー」画面を表示させたあと、さらに【設定キー】を押下して下さい。元画面に戻すには、 【戻る】キーを押下し、「メインメニュー」画面に戻し、【開始】キーを押下しますと、「抽出選択画面」に なります。この動作は、すべての設定画面で共通です。

■「メインメニュー」

開始	予約	待機
設定	管理	洗浄

■「予約」



■「待機」(ECOモード)



- 【開始】キー:「抽出選択画面」に移行します。 【予約】キー:任意の設定時間に温度調節を開始(抽出準備)します。 【待機】キー:「ECO」モード待機を開始します。 【設定】キー:時刻・抽出量・湯温等の設定を行う「設定選択」画面に移行 します。 【管理】キー:エラー履歴・電磁弁の動作回数などを確認する「管理項目
- 選択画面」に移行します。

【洗浄】キー:「洗浄確認」画面に移行します。

- 「予約」キーを押下しますと、「予約待機中」画面に移行し、 予約モードとなります。
- このモードでは、「予約時間設定画面」で設定した時間の20分前に 自動でマシンを動作させ、抽出可能な状態にします。
- ③ 動作後は、自動的に翌日の同じ時間に設定されます。
- ④ 再度「予約待機中」画面を押下しますと、予約モードは解除され 「メインメニュー」画面に戻ります。
- 「待機」キーを押下しますと、「ECO待機」画面に移行し ECOモードとなります。
- ② ECOモードは、タンク内の湯の設定温度を下げることによって、時間 当たりの消費電力を減らす機能です。
- ③ ECOモードの湯温設定は、「湯温設定」画面にて行います工場出荷時は 70℃です。
- ④「ECO待機中画面」をタッチすると、「メインメニュー」画面に戻り、通常 動作になります。

■ハスリード パスワードを入っ	カしてくフ	ださい	
	7	.8	9
	4	5	6
Ξz	1	2	3
天る	0	ESC	ENT

- 何れの「設定」を行う場合でも、最初に「パスワード入力画面」に 切り替わります。
- 2 4桁のパスワードを10キーで打ち込み(画面上には*印を表示)
 【ENT】キーを押下すると設定変更画面になります。
- ③この動作は、以後共通です。
- ④ パスワードの工場出荷時の初期設置値は「0000」(ゼロ4個)です。

■設定選択

湯量設定	湯温設定	時刻設定
ウォーマー	<u>بد بد مر</u>	パスワード
設定	冼 伊設定	戻る

【湯量設定】キー:押下すると、抽出時の「湯量設定画面」に移行します。 【湯温設定】キー:押下すると、「湯温設定」画面に移行します。 【時刻設定】キー:押下すると、「時刻設定」画面に移行します。 【ウォーマー設定】キー:押下すると、「ウォーマー設定」画面に移行します。 【洗浄設定】キー:押下すると「洗浄設定」画面に移行します。 【パスワード】キー:押下すると「パスワード設定」画面に移行します。 【戻る】キー:押下すると「メインメニュー」画面に移行します。

■ 設定方法2

■パスワード設定

新しいパスワードを入力してください



「設定項目選択」画面で「パスワード」表示キーを押下すると、左の画面が 表示されます。

- お好みの番号4桁を10キーで入力し、「ENT」キーを押下して下さい。 なお、番号の表記は「*」マークで表示されます。一文字押下して記憶 する毎に「*」印が表記されますので、4桁入力してください。
- (注意)「ENT」キーを押下しますと、新しい番号で登録が決定しますので 番号が紛らわしくなった場合は、「ENT」キーを押下する前に、 「ESC」キーを押下して、再度番号を入力してから「ENT」キーを 押下してください。
- ②「戻る」キーを押下することにより、「設定選択」画面にもどります。
- ③ 以後は、「パスワード」画面へのパスワード入力は新たに設定された パスワードを入力してください。

■湯量設定

抽出1	抽出2	較正
抽出3	抽出4	戻る

「設定項目選択」画面で「湯量設定」表示キーを押下すると、左の画面が 表示されます。

 抽出量・蒸らし時間を設定したい場合、湯量を設定したいメニュー (抽出1~4)を選択し、押下すると「抽出湯量設定」画面に移行します。 抽出2、3、4」の何れを選択した場合についても同じです。
 ②「較正」キーを押下すると「較正設定開始画面」に移行します。
 ③「戻る」を押下すると、「設定選択」画面に移行します。

■抽出湯量設定

and a second	抽出1;	易量設定1/8			
総抽出量	500	ml	7	8	1
湯量-1	100	ml	4	5	Ì.
蒸らし -1	20	秒	<u> </u>	Ļ	Ľ
湯量-2	200	ml	1	2	3
蒸らし - 2	20	秒	0	ESC	EN
湯量-3	300	ml	<u> </u>	<u></u>	Ē
蒸らし - 3	20	秒	V		戻



- 「湯量設定」画面で「抽出1~4」キーを押下すると、左の画面が表示 されます。
- この画面で、抽出工程の湯量(吐出電磁弁開弁時間)と蒸らし時間と 各工程の回数設定を行います。
- ② この画面は、湯量(吐出電磁弁開弁時間)と蒸らし時間を各々1~24回 まで設定が可能で、画面のページが設定回数に伴い増えます。
- ③ 設定時間は最小000秒~最大999秒(約16分)までとします。
- ④ 設定の方法は、設定する項目の「湯量」「蒸らし」の表示を押下し、 点滅を確認したあと、数字キーで設定値を入力し【ENT】キーを 押下します。「ENT」キーは一各設定毎に押下して下さい。
- ⑤希望する設定値を入力後、「△▽ボタン」を操作し、本抽出量を同様に 数字キーにより入力し、「ENT」キーを押下することで、設定時間が 確定され総湯量が画面に表示されますので、設置値が異なる場合は、 「△▽ボタン」を操作して設定値を確認して下さい。
- ⑥「戻る」キーを押下しますと「湯量設定」画面に移行します。



「湯量設定」画面で「較正」キーを押下すると、左の画面が表示されます。

①この機能は、湯量設定値と実測湯量の誤差を補正するもので、

手順に従って「較正画面-3」まで進めてください。

②「較正画面-1」の「開始」キー押下しますと、60秒間抽出(吐出)しますので空落とし(湯だけの抽出)によって確認して下さい。

設定方法 3 3

■較正 「較正」の抽出工程が完了しました。 デカンタに抽出されたお湯の量を計量して、 次の画面で入力してください。 次へ 戻る



- ③ 抽出終了後「較正画面-2」に移行しますので、空落としした湯量を 実測した後「次へ」表示を押下して、「較正画面-3」に移行させます。
- ④「較正画面-3」の10キーで、実測した湯量を表示させ、「ENT」を 押下します。
- ⑤ 画面表示内容に基づき「戻る」表示を押下しますと、「湯量設定」 画面に移行します。再度「戻る」を押下しますと「メインメニュー」に 移行します。

⑥ 較正作業終了後、粉を入れず空落としにより湯量を確認して下さい。

【ご注意】

(1)較正モードを実施する前に、1000ml以上を測定できる目盛付容器を 準備して下さい。

 (2)較正は、湯温が設定温度まで上昇した「抽出可」状態で行って下さい。
 (2)抽出量が、設定より減ってきた場合などは、シャワーのお手入れなど を行った後、較正モードにて較正作業を実施して下さい。

■湯温設定



「設定項目選択」画面で「湯温設定」キーを押下すると、左の画面が表示 されます。

- ① この画面で、タンクの湯温設定(抽出温度設定他)を行います。
- ② 設定の方法は、設定する項目の「抽出温度」か「ECO温度」の 表示部を押下し、点滅していることを確認した後、10キーを操作 して任意の温度を設定します。設定後に「ENT」キー押下する ことで、設定温度が確定されます。
- ③ 設定温度は常温~95℃までです。(工場出荷時93℃)
- ④ 「ECO」モードの設定は70℃程度で設定して下さい。
- ⑤ 【戻る】キーを押下すると、「設定項目選択」画面に移行します。

■時刻設定

本体	予約	= 7
時刻	時刻	戻る





「設定項目選択」画面で「時刻設定」キーを押下すると、左の 「時刻設定選択」画面が表示されます。【本体時刻】【予約時刻】 の何れかを押下しますと設定画面が表示されます。

【本体時刻】を設定します。(先に現在時刻を設定します。)

- ①【本体時刻】キーを押下し「本体時刻設定」画面を表示させます。
- ② 設定する項目(年月日時分)を各々の表示部を押下し、点滅を 確認した後、数字キーを操作することで任意の日時を入力し、 入力都度「ENT」キーを押下しますと設定日時が確定されます。 設定日時の最小単位は「分」までです。
- ③「戻る」表示を選択しますと、「時刻設定選択画面」に移行します。

【予約時刻】を設定します。

- ①【予約時刻】キーを押下し「予約時刻設定」画面を表示させます。
- ② 設定する項目(年月日時分)を各々の表示部を押下し、点滅を 確認した後、数字キーを操作することで任意の日時を入力し、 入力都度「ENT」キーを押下しますと設定日時が確定されます。 設定日時の最小単位は「分」までです。
- ③「戻る」表示を選択しますと、「時刻設定選択画面」に移行します。
- ④ 予約時刻設定された日時の20分前に湯沸しを開始し、設定時刻には抽出が可能な状態になります。
- ⑤ 予約設定時刻になりますと、一連の動作を行い、予約設定が自動的 に翌日の同時刻に予約設定されます。

■ 設定方法4

■ウォーマー設定

ウォーマー設定	-		_
ウォーマー1 手動	7	8	9
· 分	4	5	6
ウォーマー2 手動分分	1	2	3
	0	ESC	ENT
ウォーマー3 手動 分分		戻る	
ウォーマー設定			
ウォーマー1 自動 30	7	8	9
^{クォーマー設定} ウォーマー1 自動 30 分	7	8	9

0 分

0

ESC ENT

「設定項目選択」画面で「ウォーマー設定」キーを押下しますと、左の画面 が表示されます。

- ① この画面で、各ウォーマーの制御方法の設定を行います。
- ②【手動】【自動】キーは表示部を押下する毎に切り替わります。
- ③【手動】の場合は、時間設定は出来ません。
- ④【自動】を選択しますと、時間表示部が入力可能となります。
- ⑤ 時間表示部を押下し、点滅を確認した後、10キーで自動OFF 設定時間を入力します。
- ⑥ 入力後【ENT】キーを押下することにより「自動OFF時間」が 確定され、ウォーマー「ON」後に設定時間をカウントダウン後 「自動OFF」となり、警告音(ピーピーピー)でお知らせします。
- ⑦ 時間設定は最小00分~最大99分です。
- ⑧【戻る】キーを押下すると、「設定項目選択」画面に移行します。

■洗浄設定

-マー3 手動



「設定項目選択」画面で「洗浄設定」キーを押下すると、左の画面が表示 されます。

- この画面で、【手動洗浄】【自動洗浄】の切り替えと数字キー 表示を用いて【自動洗浄】時の、洗浄湯量を任意の量を設定 出来ます。
- ②【自動洗浄】時の洗浄湯量は、湯量表示部を押下し、点滅を 確認した後数字キーで、任意湯量を入力し、【ENT】キーを 押下して湯量が確定されます。
- ③【戻る】キーを押下しますと、「設定項目選択画面」に移行します。
- ④【手動洗浄】を選択した場合、「洗浄確認画面」の【開始】を押下している間、動作し続け、押下を止めると停止します。
- ⑤【自動洗浄】を選択し、湯量を設定した場合は、「洗浄確認画面」の 【開始】を押下すると、動作(吐出)し、設定湯量になると自動的に 停止します。この場合、【停止】を押下しますと強制的に停止します。

■管理

抽出 回数	積算 流量	₽Z
電磁弁 動作	故障 履歴	床る

「メインメニュー」画面で【管理】キーを押下しますと、「管理項目」
画面が表示されます。この画面で、「抽出回数」、「故障履歴」、
「積算流量」、「電磁弁動作」が選択出来ます。
①【抽出回数】表示を押下しますと、「抽出回数確認画面」に移行します。
②【故障履歴】表示を押下しますと、「故障履歴確認画面」に移行します。
③【積算流量】表示を押下しますと、「積算流量確認画面」に移行します。
④【電磁弁動作】表示を押下しますと、「電磁弁動作確認画面」に移行します
⑤【戻る】表示を押下しますと、「メインメニュー」画面に移行します。

1	抽出回数		
抽出1	99999		リセット
抽出2	99999	回	
抽出3	99999		
抽出4	99999	回	戻る
最終リセット	2013/01/11 15:0	0	

「抽出回数確認画面」

- この画面で、各抽出メニューの杯数累計(最終リセット以降)の確認と リセットが行えます。
- ②【リセット】表示を押下しますと、杯数累計が「00000」にリセットされ、 最終リセット日時もリセットされた時刻となります。
- ③【戻る】表示を押下しますと、「管理項目選択」画面に移行します。

■ 設定方法5

■管理

故障履歴 1/2	-
	リセット
	戻る



「故障履歴確認画面」

- ①この画面で、過去10件の重故障(エラー)の確認とリセットが行えます。
- ② 故障履歴の確認方法は、「E01」が最新の故障履歴で次ページ (「故障履歴2/2」画面の「E10」が最古の故障履歴となります。 ページの変更は「△▽ボタン」表示を操作することで行います。
- ③「リセット」表示を選択しますと、故障履歴がすべてリセットされ、 そのリセット以降に発生した重故障(エラー)から履歴されます。
- ④【戻る】表示を選択すると、「管理項目選択」画面に移行します。

「積算流量確認画面」

- ①この画面で、使用開始以降の流量の積算値の確認が行えます。
- ②【リセット】表示を押下しますと、積算流量現在値が「00000」に リセットされ、以後の積算流量をカウントします。
- ③ 積算流量設定値は、浄水器の交換目標などの数値を10キーで 入力し記録しておきます。
- ④【戻る】表示を押下しますと、「管理項目選択」画面に移行します。

SV1 給水電磁弁 99999 回 最終リセット 2013/01/15 15:00	SV2 抽出電磁弁 999999 回 最終リセット 2013/01/15 15:00 リセット
SV3 給湯電磁并 99999 回 最終リセット 2013/01/15	戻る

「電磁弁動作確認」画面

- この画面で、最終リセット以降の各電磁弁の動作回数の確認と リセットが行えます。
- ② リセットを押下しますと「00000回」になり、以後の動作をカウントします。電磁弁の故障の際に、寿命などの目安としてください。
- ③【戻る】表示を選択すると、「管理項目選択画面」に移行します。

■洗浄 洗浄をタッ お湯が抽出 火傷にご注	チすると、 はされます。 意ください。
洗浄	戻る

15:00

「洗浄設定」で【手動洗浄】を設定している場合

「メインメニュー」画面で【洗浄】を押下しますと、左の「洗浄確認」 画面が表示されます。

- ①【洗浄】表示を押下している間、お湯が抽出されます。
- ② 押下を停止しますと、抽出も停止します。

③【戻る】表示を押下しますと「メインメニュー」画面に移行します。



「洗浄設定」で【自動洗浄】を設定している場合

「メインメニュー」画面で【洗浄】を押下しますと、左の「洗浄確認」画面が表示されます。

- ①【開始】表示を押下しますと設定された湯量が抽出され洗浄工程が始まります。
- ② 洗浄抽出中は「洗浄中」表示が表示され、残り時間と抽出工程中であることをお知らせします。
- ③洗浄が完了しますと、「洗浄完了」画面を表示します。【戻る】を押下しますと、「メインメニュー」 画面に移行します。
- ④「停止」表示を押下することで洗浄抽出工程を強制的に停止し「中止画面」に移行します。
- ⑤【確認】キーを押下しますと、「メインメニュー」画面に移行します。

■ エラー表示1

「給水異常」

給水量の異常を検知しました。マシンの元電源を切り、給水の

状態をご確認ください。

機器に不具合が発生した場合、液晶パネルにエラーが表示されます。改善するまで機器を停止させます。 液晶パネルの表示内容にしたがってご対応下さい。また、お問い合わせや修理を依頼される前に、 20頁の「故障・異常の見分け方と処置方法もご参照下さい。

■給水異常

給水が3分間経過しても、所定の水量がタンクに供給 されない場合に表示されます。

(発生原因)

- ・水栓が閉じている
- ・水圧が極端に低い
- 浄水器が詰まっている
- ・給水ホースが折れている

■異常加熱1



ボイラタンクの温度異常を検知しました。 マシンの元電源を切り、取り扱い説明書の 内容に従って、ご対応ください。 タンクの湯温が上限温度98℃に到達した場合に表示されます。 タンク内の沸騰状態を防止しています。

(発生原因)

・温度制御センサー部の不具合

■安全サーモスイッチの動作



タンク内の過昇防止バイメタルサーモが動作した場合に表示 されます。主にタンク内の空だきを防止しています。

(発生原因)

- ・水位センサーの不具合
- ・制御回路部品の不具合

■機内温度異常

「機内温度異常」

機内温度異常を検知しました。 マシンの元電源を切り、取り扱い説明書の 内容に従って、ご対応ください 機器内部の温度が80℃以上なった場合に表示されます。 制御基板や電子部品の加熱による故障を防止しています。

(発生原因)

- ・排気ファンが塞がっている。
- ·設置環境(空間・周囲温度など)が不適当
- ・排気ファンの故障
- ・センサーの不具合

■ エラー表示2

機器に不具合が発生した場合、液晶パネルにエラーが表示されます。改善するまで機器を停止させます。 液晶パネルの表示内容にしたがってご対応下さい。また、お問い合わせや修理を依頼される前に、 20頁の「故障・異常の見分け方と処置方法」もご参照下さい。

■サーミスタ異常

「サーミスタの異常を検知しました。 マシンの元電源を切り、取り扱い説明書の 内容に従って、ご対応ください 「発生原因」 ・サーミスタ回路の断線

■水位センサー異常

「水位センサー異常」	水位センサーが不具合で正しく信号が送れていない場合に 表示されます。
タンク内水位センサーの異常を 検知しました。 マシンの元電源を切り、取り扱い説明書の 内容に従って、ご対応ください	水位センサーが原因で給水出来ない。タンクが空の状態で 動作している。給水が止まらなくなるなど水位センサー 不具合で発生する異常を防いでいます。
	(発生原因) ・水位センサーの劣化による動作不良 ・水位センサーの信号線の断線
■ 涌 信 ⊤ –	

■通信エラー



機器内で液晶パネルと制御回路の通信が出来ない場合に表示 されます。 制御全般が実行できないことにより発生する異常を防いでいます。

- (発生原因)
- ・通信ケーブルの断線
- ・コネクターの接触不良
- ・制御回路部品の故障

■出力エラー

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつ漏電事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。

■点検・お手入れの際の注意事項

- ・日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・故障又は破損したと思われる場合は、使用を中止し、電源スイッチOFFにして、 漏電ブレーカーなどを「切」にした上で、「故障・異常の見分け方と処置方法」をご参考に 対処してください。
- ・不完全な修理は危険です。不具合が発生して処置に困る場合は、お買い上げになった 販売店にご相談下さい。
- ・点検お手入れの際には、スイッチをOFFにして、機器を冷ましてから行ってください。 保温プレートは電源を切っても直ぐに冷めません。やけどには十分注意してください。
- ・お手入れの際には指先に十分注意してください。

■点検

- ・電源コードが傷ついていたり、プラグが破損していないか等を確認してください。
- ご使用開始時に電源コード、電源プラグ、スイッチ、表示ランプ等が正常に動作することなどを確認してください。
- ・給水パイプの破損、接続部の水漏れなど無いかを確認して下さい。
- 液晶パネルを拭くときは、ふき取り時に動作するおそれがありますので、電源スイッチを切ってから 行って下さい。

■お手入れ

- シャワーは本体にネジ式で取付けられていますので、2週間に1度程度、本体より取り外して つまようじなどで、穴の内外から突ついて掃除して下さい。
 再度取り付け時はパッキンゴムなどを忘れず取付けてください。
- ・ 機器本体のお手入れは、固くしぼったふきんで拭いて下さい。



シャワー

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

	诵	エラー表示が出た								抽	Ę	Ţ		
原因	電しない。電源スイッチをONしても動作しない。	「給水異常」が表示された。	「異常過熱」が表示された。	「安全サーモスイッチがトリップ」が表示された。	「機内温度異常」が表示された。	「サーミスタ異常」が表示された。	「水位センサー」が異常が表示された。	「通信エラー」が表示された。	「出力エラー」が表示された。	出量が安定しない。	- ヒー がぬるい。	- ヒー がファンネルから 溢れる。	処 置 方 法	
電源プラグが抜けている	0												電源プラグを差し込む	
電源コードの断線	0												販売店・サービスマンに連絡する	
適正配線工事が施されていない	0												電気工事店に連絡する	
水栓が閉じている		0											水栓を開ける	
ホースの折れにより水圧が低い		0											ホースの閉塞箇所を直す	
湯温設定温度上限値との差がない			0										パネル画面の温度表示を確認	
温度センサーの外れ	0		0										販売店・サービスマンに連絡する	
温度センサーの断線・不具合				0		0		0					販売店・サ―ビスマンに連絡する	
制御回路の不具合		0	0	0		0							販売店・サービスマンに連絡する	
設置環境が悪い(高温)					0						0		設置場所の確認と再検討	
ファンの排気を妨げている					0								風通りをよくして排気を改善する	
機内配線の断線・接触不良					0			0					販売店・サービスマンに連絡する	
メインヒーターの断線									0				販売店・サービスマンに連絡する	
ウォーマーヒーターの断線									0		0		販売店・サービスマンに連絡する	
 電磁弁の断線・故障									0				販売店・サービスマンに連絡する	
水位センサーの故障・断線				0			0						販売店・サービスマンに連絡する	
水位センサーの接触不良				0			0						販売店・サービスマンに連絡する	
水経路の汚れ・スケール付着										0			較正を行い、湯量調整する	
シャワーの目詰まり										0			シャワー清掃後、較正を行う	
ペーパーが複数枚重なっている										0		0	ペーパーフィルターは1枚で抽出する	
ファンネルの穴が詰まっている										0		0	ファンネルの孔の確認をする	
湯温設定が低く設定されている											0		設定を確認し修正する	
ウォーマーをONしていない											0		ウォーマーをONする	

お問い合わせや修理を依頼される前にご確認ください。

長期間使用しない場合

■長期間使用されない場合は各部を清掃し、電源スイッチを切り、給水のバルブ(給水栓)を を閉じ、電源コードのプラグをコンセントより抜き、タンク内の湯も抜いて保管して下さい。



【タンク内の湯の抜く方法】 機器背面下部のドレンコックに付属の排水 ホースを差込みホースバンドで固定してから、 ドレンコックのレバーを時計方向に一杯廻し て開きますと、タンク内の湯が排出されます。 完全に排出されるまで、コックレバーを開き 排水して下さい。

【注意】

- 排水時は電源スイッチを「OFF」にして下さい。
- お湯は、熱いので金属バケツ等に入れ、処理 して下さい。また、火傷に注意して下さい。

■ アフターサービスについて

■サービス(点検・修理など)を依頼される前に

- ・サービスを依頼する前に20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度ご確認の上、
 それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
- 製品名・製品番号(銘板に表示のもの)
- (2) 住所・氏名・電話番号・道順
- ③ 現象(できるだけ詳しく)
- ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■ 保証について

 「正常なご使用状態」において、且つ「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ 日より「1ケ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 ① 誤った使い方をされたときの故障
 ② 移動、落下等によって生じた損傷・故障
 ③ 不当な修理改造がなされた場合の故障
 ④ 火災や天災地変、公害や以上電圧による損傷・故障
 ※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

このコーヒーマシンの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

 ・コーヒーマシンをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めに なった販売店か当社へ連絡して下さい。



- 本 社/〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
 - TEL. (06)6998-9303 FAX. (06)6998-9306
- 東 京/〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4新福神ビル9F TEL.(03)3255-5310 FAX.(03)3255-6722

2018.12 (01)